夕刊
新京日日新聞

定價 一部金三錢 一箇月金八十錢
郵稅 一箇月金十五錢
新京永樂町一丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三三〇〇番・三五二二番
發行人 十河 忠男
編輯人 松本 [illegible]
印刷人 谷 善二郎

熱河建設工作 第一期計畫なる
政治、郵政、民衆救濟

【錦州五日發國通】承德入城と共に滿洲國では熱河省内の建設工作を開始したが、その第一期計畫は左の如し

一、政治工作

(イ)先づ各地自衛隊をして日滿軍と協力し治安の確立を圖り、省政府並に各縣の接收を斷行する

(ロ)國境確保のため長城の線に沿ひ○○を布くと共に北方地域を熱河省より引離し、興安西分省に移管する

旗、縣については從來通り旗は旗、縣は縣の組織をそのまゝ踏襲する

(ハ)熱河省長の後任に就ては種々取沙汰されてゐるが今の所張海鵬將軍の呼聲が高い

二、熱河省の電政、郵政の接收

從來實質的には天津管理局の管下にあつた熱河全省の郵政、電政を滿洲國奉天郵政電政管理局で接收して、文化から取殘された熱河にスポード時代を現出すべく奉天郵政局員越智氏以下四十三名は各任地に向け出發した

三、民衆救濟法

舊軍閥政權の虐政の後を承けて省内の物資極度に缺乏し、省民は殆んど瀕死の狀態にあるを以て先づカンフル注射として熱河省窮民を救養する一方必需品を阿片と交換又は現金で買上げる

歐米諸紙の
日支紛爭論カクテル

『佛紙の部』

△ジャーナル(二十六日)　歐米諸國が支那を相手として「プレスティジ」を失つたの觀があるが、之支那の組織及國家觀念の異なるを知らざりし因る、世界大戰の無秩序な支那を參加せしめ、其結果獨逸は治外法權を失ひ、支那の無秩序に對し歐洲の權益が侵害される危險に曝される事になつた、終に不平等條約論出で華府會議は尚早なる撤廢論に左袒するに至つた、日本は今回、英國が印度に於けて佛國は印度支那で爲したのを滿洲で行つたとの理由で非難された、今や日本は極東に於ける眞の盟主となつた、孫逸仙及蔣介石の失墜の時之を援助した善果は日本に報ひられつゝある

△プチジャーナル(廿六日)　日本の脫退を夢想だにせざりし人々は日本の脫退準備に直面して驚愕してゐるが、日本の脫退は先例と異り單なる面目保持とか、感情問題とかに基因するのでない委員會は武器禁輸を討議した由、困るのは支那で、日本にのみ禁止するとせば日本は支那沿岸を封鎖するであらう、聯盟は十九國委員會の報告を採擇せる以上は極力防戰に努力せねばならぬ

△オルドール(廿六日)　數年前の支那は脅迫を口にし爆彈を持ち乍ら英、佛に不平等條約撤廢を要求した、今日は之に言及せざるも聯盟にして支那を煽動せんか、彼は再びあくなき要求を追ふであらう、英、佛の日本に反對せるは聯盟の爲でなく米國に顏を立てたのだ

米國紙

△レパブリック(二十六日)　日本代表の引揚と同時に日本は熱河に大規模を開始したが始めから豫想してゐた最初に當つて日支兩國の直接交渉で滿洲問題を解決し得なかつたことは殘念だ、聯盟は決議に基き三ケ月の期間を利用し極力紛爭の惡化を防止する必要がある、米國は新大統領就任により日支紛爭に對する態度を明確にするであらう

△クロニクル(二十六日)　英國は米國の態度を確めずして武器禁輸を主張し、佛は英米の行動を一致すと聲明したるは、戰爭材料の輸出禁止權限を大統領に附與すべしとの大統領の議會に對する要求に力を添ふるものだ、英國は商利を犧牲にして極東の戰禍を最小限に止めんとし、戰爭に捲込まれざる用心を爲した、米國もこと一致しなければならぬ

△デイリーニュース(二十八日)　「ス」長官が對聯盟問答に於て米國の對聯盟協調の方法と範圍に關し判斷の獨立を留保したのは正當である、これなくば米國は紛爭に捲込まれることゝなる、米國は英佛と共同するが然し之に左右されることは斷じて望まぬ

△ニューヨークタイムス(二十七日)　ス氏の回答は聯盟に一應の滿足を與へたが多少の批評を免れぬ　聯盟諸國は第十六條の重大なる責任を冒して「イエス」と即答せるに拘らず、米國は聯盟規約上の義務を負はざるに躊躇の字句「一般に適切なる程度の實質的協調」等を插入したるは考へ物だ、斯くの如き回答は聯盟諸國は果して米國が彼等の窮境を援助しくれるかを疑はしむるものだ、ス氏の回答は武器禁輸を戒めてゐると見るべきである

需要處の印刷工場
近日中業務開始

需要處印刷工場は愈々機械据付も完了したので近日中に業務を開始することとなつたが、此處に於ては政府公報及び政府の機密文書の印刷のみをするもので、其他の民間に委ねても差支えないものは從來通り民間業者の手に委せ、以つて民間の此の種事業の發展に資する事になつたが此種の印刷のみでは收支つぐのはざるを以て之に要する費用は需要處の經常費を以てし、全く成算を度外視して行ふものである

各省要求
一億圓突破

【東京五日發國通】八年度豫算はこの財政非常時に拘らず各省の要求したるもの、滿洲上海兩事變論功行賞公布公債發行額を別にして、一億圓を突破する尨大なものであるため、大藏省では大削減查定を行ひ四日各省に內示したので各省では夫々復活要求を爲し大藏省との間に折衝を重ねてゐるが遲くも十日頃には閣議提案の運びとならう

國難打開 決議案
豫算案通過後提出

【東京五日發國通】國難打開決議案につき昨四日午後貴族院の各派交渉會開催された結果、豫算案が本會議通過後單獨決議案として提出する事に決定、說明者の選定については月曜日決定する事となつた　決議案の提出には、不要論者も一部にあるが、財政問題、滿洲問題を中心として貴院としての意思表示を爲す必要ありといふに意見の一致を見た模樣である

熱河討伐の實感放送
第一日のプロ

【錦州五日發國通】最初の試みとして我關東軍○○の司令部が熱河討伐の勇壯なる場面を內地及全滿各地に向けラヂオによつて實感放送を行ふことは既報の通りであるが、先づ第一日のプログラムは左の如くである

午前十一時五分から岡村副長の承德視察及秋山飛行中尉の承德入城の實感が放送される豫定

聯盟脫退通告文
諮詢の打ち合せ

【東京四日發國通】倉富、平沼、二上翰長の三氏は午前十時半樞府事務所で聯盟脫退通告文諮詢の際の打ち合せをしたが、二上翰長は下審查をなし、倉富議長が九名の委員を指名囑託し至急審查をなすに決定した

ハルピン警察廳
十一日より事務開始

【ハルピン四日發國通】昨夏以來計畫中なりしハルピン警察廳は三月十一日より事務を開始、同日は盛大なる開廳祝賀式を開催する事となつた　同廳は首都警察廳と同格にして民政部總長に直屬するもので、既に官制は國務院を通過し、目下盛に開廳準備中

ラヂオ欄

七日(火曜)
天錦州前一一、〇五　錦州よりの放送
一一、四〇(內地向)
奉天后五、〇〇　レコード　錢付金銀相場　商業通信社
新京后五、二〇　演藝
新京后五、四〇　講演
新京后六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京后六、二〇　時事解說　(滿洲語)氣象豫報及滿洲語ニュース
奉天后七、三〇　ニュース(英語)
新京后七、四五　ニュース(露西亞語)
新京后八、〇〇　ニュース(朝鮮語)
新京后八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京后八、三〇　時報
東京后八、三一　ニュース　東京中央放送局編輯

熱河に就て(七)
熱河省の地理

一　地域
東部內蒙古地帶たる照烏達盟、卓索圖盟及前清時代の御獵地たりし木蘭圍場地方の總稱であつて、北緯四十度より四十六度に東經百十六度より百二十二度に亙る地區である。

二　面積
素より正確なる統計ではないが、先づ大體次ぎの如き數字が擧げられて居る。

熱河烏盟　五、九四一方里
卓索圖盟　二、六五七方里
木蘭圍場　二、六三〇方里
合計　一一、二二八方里

之れを見ると先づ概ね奉天省の面積に等しい。

三　省境の地形
北境は大興安嶺山脈の末端蜿蜒起伏して東北より西南方に走り、西域は北に陰山山脈の一角喇木、倫老哈兩河の間に走りて遠く北支那に趨り、七老圖山脈は幹にこと交り蜿蜒たる高連山地帶を成形しつゝ東南走した渤海に向ひ別に松嶺山脈は渤海岸と併行して、熱河區域の東南境を劃して居る東北境奉天省に接する地域は、所謂一望千里の大平原を成し遠く滿洲の野に連つて居る。

四　省內地形の大體
北部地方は大體小盟阜地帶をなすも東部は平原である。中部地方は中地、岡阜地相錯綜しあるも一般に比高低く地形概して平易なる地方である。南部地方比較的高峻なる山地及其間を流るゝ灤河、大凌河、小凌河及び之に沿ふ狹隘熱河に就てなる平地より成る連山帶である。

五　人文
本地は元來蒙古人の占據せる遊牧地であつたが、前清乾隆年間より漢族の開拓を許して以來急激に發達し目下省內の大部分は縣治は布かれ、住民の大部も漢滿民族であつて蒙古人は極めて少く、而も住民大部は農業を營み、衣食住とも略支那式であつて、滿洲地方と殆んで變る所がない　西境及東北境方面の未開放地方には未だ蒙古人少くないが、多くは一地に定住して水草を逐ふて遊牧すると云ふ風俗はなく、轉住するにしても春秋一回位に止まつて居る。

六　人口
人口も正確なる統計がない故判明しないが先づ大體四五百萬內外と算定せらるゝが其內の約四分の三は漢人であるとの事である。

怪人凱歌 (百六十五)
(舞臺上演 映畫化) 須藤鐘一　(畫) 濡秋方

の方の何かに使つていたゞく譯にはまゐりませんでせうか。受附でも、掃除係でも、何でもいゝですが』

と、恐る〳〵哀願して見た。

『さアね、御本人は可哀想だから使つて上げたいとも思ふけれど、不良少年なんかゞついてゐては、又どんな迷惑が院の方へふりかゝるまいものでもないからね』

『はい、しかし、さういふ事は滅多にないだらうとはおもひますが……。何なら今度樣子を見てお出しになる分院の方へでも如何でせうか?』

『まア考へておきませう』

と、信子はうるさげに眉をひそめて、煮え切らぬ返事をする。

さうかうするうちに、時刻が來たので、眞佐子が出勤の支度をしてゐると、信子がツカ〳〵と入つて來て、

『眞佐子さん、あなたは當分銀座へ出なくてもいゝのよ』と、命令するやうに云つた。

『は……』

眞佐子は、あまりそれが突然だつたので、二の句がつげなかつた。

『そしてね、此處にゐる時も、なるべく人目にかゝらぬやうに。

沈默 (四)

其の日は笹川信子も其のまゝにして根岸の家にかへつた。歸つてからも、彼女は眞佐子に默してあまり口をきかなかつた。

二人は、氣まづい思ひで、早々に寢床へ入つたが、眞佐子は晝間のことを考へると、どうしても寢つかれなかつた。

千鶴子さんが自分一人を當にして、何かいゝ口を見つけて來てくれるだらうと待つてゐることを考へると、斷うしてはゐられないやうな焦だゝしさを感ずるのであつた。

翌朝になつても、信子はむつゝりしてゐて、取りつくしまもなかつた。然し、さうかと云つて、眞佐子は此の際、眠でも職でも雇主の信子にすがつて見るより外はなかつた。

『しつこく云ふやうですけれど、千鶴子さんのことですが、美容院へ引つこんでゐるやうにしてゐてちやうだい。──誰にも、あなたはもう故鄕へかへつたといふ事にしておきますから……』

『ですが、今日は、兎に角千鶴子さんに逢ふ約束をしてゐますから一寸行き度いのですが……』

『當分外出はよしていたゞき度いのですよ』

信子の語氣は荒かつた。そんな反抗的なことがあるものかと、眞佐子は聊かむつとしたが、其のまゝ默つてしまつた。

信子にして見れば、眞佐子を十分信用して、行く〳〵は自分の後を立てさせ度いと考へてゐる秘藏弟子である。それが最近、變な奴につけまはされてゐるらしいので何とかして、そんなものとの關係をキッパリと斷つてしまひたいといふのが其の腹だつた。

信子の出て行つた後、眞佐子は奧の間で久しぶりに書物を讀んで見たり、編物をいぢつて見たりしたが、そんなものはどうしても手につかない。殊に、暇前の忙しさから解放されてゐると、氣持の紛れがないので、彼女の心にはいろいろの思ひ出や、感慨が目まぐるしく往き來するのであつた。

然し、その多くは線香花火のやうに、たゞパッ〳〵と光つては消えて行つたが、どうしたのかいぢらしさうな千鶴子の姿と、まだ繃帶をとらない信雄の傷々しい面影とが、眼の底にこびりついて離れなかつた。それは、彼女として不思議なことだつた。

山路兄妹との關係といつても、別に深いものではなかつた。たゞ偶然、銀座の氷雨ふる中で信雄のいぢめられてゐるのを醫院に連れて行つてやつたといふだけの事。──それがどうして、こんなに自分の心に強く印象を止めてゐるのか。

先生の忠告を聞くまでもなく、自分はまだ人の世話をする身分ではない。現にヴィナス美容院の厄介になつてゐるではないか。山路兄妹のことにしても、そんなに身を入れなくても、スッパリと手を切つてしまつた方がいゝのだ。──斷う彼女の理性は心に命ずる。

家庭醫學

受驗期の頑張りに
ヘーフエ突擊療法(シトース・クール)
最短期間に最大のエネルギーを充實させる最も賢明な戰術

今までの治療界には一風變つた名の「鐵突擊療法」といふのが貧血症に行はれて來ました。鐵劑は貧血の良藥でありますが、從來の用量の數倍もの服用を試みますと、よりよい効果を顯すといふので、この一風變つた突擊療法の火の手が獨乙を中心に現れました。

貧血に對する鐵劑ばかりでなく消化器の故障、特に胃潰瘍の場合などにもアルカリ突擊療法といつて、重曹の大量投與が盛んになつております。この突擊療法といふのは、つまり普通用量を越した大量を用ひるもので、近代治療醫學界の新軌軸であります。

化學藥劑の大量投與は、しばしば危險な副作用が伴ふ場合がありますので、必ず醫師の指圖の下に行はなければなりませんが、酸質改造に、健腦作用に、エネルギーの資源とうたはれるヘーフエは、突擊療法を行ふに最も理想的な副作用のない生物藥として賞用せられてゐます。特に、

最小の期間に最大

のエネルギーを充滿さす必要のある入學試驗や進級試驗には學生諸士にとつて最も賢明な戰術であります。

この重大な役割を演ずるエネルギーをとる爲に、何よりも有効な方法はヴイタミンBの大量を攝ることに歸します。

最小の期間に最大のエネルギーを保つ上に、此ヘーフエ突擊療法は最も有効であります。何となれば、ヘーフエは無限のヴイタミンBを放出してゐるからであります。そしてヘーフエ菌劑としては澤村博士の創見に係る「錠劑わかもと」が代表的役割を持つてゐることは識者間の常識になつております。

「錠劑わかもと」は先づその中に溢れるやうにヴイタミンBを含む外、殆ど凡ての營養素、例へば燐、カルシウム、アミノ酸、ヌクレイン、グリコゲン等々を不思議と思はれるほど豐富に含んでゐます。

グリコゲンは貝類に多分に含まれる動物性の醱粉質で、人體には主に肝臟に貯へられ、生の最後まで死と、激しく戰ひぬく貴重な物質であり、ヌクレインは神經細胞の構成分子であり、アミノ酸は蛋白質の分解產物として吸收され易い蛋白質であります。これらの

貴重な要素を包含

する「錠劑わかもと」が、目前に展開されようとする激烈な試驗の防塞に參集ましくも介在することは、昔の受驗生に比較して天の惠みといふべきであります。ヘーフエ突擊療法の實現は『錠劑わかもと』の普通用量を二倍から五倍にすることで充分に發揮されます。

絶對健康に必要な三ッの要素(ファクター)

朗かな、人間の健康支持のためには三つの重大な要素があります。それは、快適な安眠と、愉快な食慾と、規則正しい便通とであります。この三ッの要素の一つでもが缺けた場合は忽ち健康狀態が亂れて來ます。

この亂れを防いで、生き永らへる間、明るく愉快に、健康で過るには何よりも自重自愛して行かねばなりません。それには酒、煙草を愼しみ、日々の仕事を樂しみ、適度の入浴、運動を忘れずに、何時も樂天的態度で一切の憂鬱を拭ひ去るやうに心掛ける必要があります。

昔から長壽を保つ

た幸福な人々は、一樣にこの心掛けを持つてゐたことが判ります。長壽は決して遺傳でも、體質でもありません。睡眠も、食慾も、便通もすべては一にかゝつて細胞の活動程度によつて現れます。人體を形づくる無數の細胞のその只一ツでもが弱まるならば、生體には何等かの故障が現れ、大切なトリオであるこの三ッの要素の何れかが亂されることになります。

無數の細胞の一つ一つはそれぞれに自分達を守つております。彼等の一番の好物は意外にもヘーフエといふ營養素であることが判りました。このヘーフエには

滋養になる澤山の

美味しい要素が入つてゐるからであります。それを最も手近に純粹に求めるには「錠劑わかもと」を與へることです「錠劑わかもと」は、健康に必要な三つの要素を確實に投與します。

此の優れた「錠劑わかもと」は發見者たる澤村帝大名譽教授の配慮で、乳幼兒死亡率の激減を目的とする榮養と育兒の會から二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ廉價で頒布されてゐます。藥店に品切の節は、東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)へ(代價だけ送付次第送料當會負擔で)直送されます。

[illegible]素です。

人が實際には、かなり元氣さうに見える若い人達でも食慾不振や不眠、便秘等にはかなり惱まされてゐるのが普通の樣であります。一日二日の睡眠障碍や便通異常や食慾不振は惡いて、半月、一月、もつと延長してゆくものです。即ち急性症は常に慢性症に移行し易いのであります。

八十四歲に達して尚ほ人世の疲れを知らなかつたといふ文豪ゲーテの瞳は、何日も水々しく輝いてゐたといはれます。そして、時に瞳にくもりの現れる原因を、この三ッの要素の足並が多少でも亂れることに

原因すると說いて

ゐます。彼の毎日の一つの樂しみは、自分の水々しい瞳を鏡に映して眺め入ることだつたといはれます。

それほどゲーテは、睡眠と便通と食慾に注意を怠らずに、あの偉業を永久に殘しました。それは決して偶然ではなく、八十有餘年間の努力だつたのであります。

自重自愛といふ大きな努力の結果を科學的に觀ますと、つまりは體の細胞機能がその個體の生活に一致したことになります。細胞の健全な活動が終始されることになります。細胞の健全な活動は實に生體健康の泉であります。生命は細胞の集りで、細胞なしに生命は[illegible]

肺尖を征服して普文に合格した
一苦學生の手記
(岡山) 早川清馬

私は生れつき弱い身體で、鄕里の田舍に居ても人のする荒仕事は續かないので、或人の紹介で岡山市の某辯護士の書生となりました(中略)書生と云ふ仕事は氣樂なものの、私はこの途を

選ん

だのが失敗でした。それは第一運動が出來ないのと、田舍者が都會生活に馴れないのとで忽ち以前に增して益々身體は弱くなつてゆく許りでした。皮膚の色は日々青ざめてゆくそして時々盜汗をするので、或日某醫師に診て貰ふと、胃が惡く、爲めに肺尖が傷んでゐるとの事でした(中略)金のない私としては思ふ存分名醫で治療することも出來ません。瘦せ細つてゆく自分の腕を毎日見て、萬事窮す、私は遂に悲しい恐ろしい覺悟を決めた日もありました、熱は毎日三十八度位ありますので、食事は減退し、身がグラグラしましたが、休むことすら出來ない身とてほんとに、悲しくなりました。

或日のことでありました。友人の宅へ遊びに往くと、机の上に赤い紙函に「錠劑わかもと」と書いた藥らしい物が置いてありましたので理由を聞くと「胃が惡いので服んでゐる、君も飲み給へ、よく効くぜ」と云ふので、試みに私は買つて毎日食後服用して、

朝は

少し早く起きて散步してゐました。すると嬉しい事には盜汗が段々少くなり從つてよく眠れる樣になりました(中略)そしてボツ〳〵勉強する樣になり、翌年普通文官試驗に合格しました。

今では役所へ奉職して、毎日愉快に暮してゐます。(省略)

熱河攻略なるの日
全世界經濟パニツク

各國爲替取引停止 獨り日本圓價は騰る

米國四十八州の各銀行の休業により米國の爲替取引は停止され遂に金輸出禁止の方策をとるに至り、これが影響するところ上海、歐洲各地に及び、日本における東京、横濱、大阪、神戸等主要都市市場も殆ど立會停止となり、滿洲においては六日大連市場は前場は立つたが、後場立會停止となり、一方銀相場は續落、六日午前城內の銀相場は鈔票金票百圓二十五錢、大洋金票九十七圓二十錢、國幣金票同、大洋鈔票九十七圓丁度と、いづれも昨日より慘落、殆ど停止する處を知らぬ有樣である、對米爲替相場は立會停止のため確然とは判明しないが午前十一時頃の氣配では二十五ドル台にあり、七日朝から米國各銀行が開業出來るや否やによつて左右せられるも何れにしても圓價は漸次騰貴するものとの觀測が下されてゐる

米國の休業銀行 全米四十五州に及ぶ

（ニユーヨーク四日發國通）米國における銀行の休業と支拂制限は僅々フロリダ。南カロライナ、ウイスコンシンの三者を除き遂に全米四十五州に波及するに至つた、各聯邦準備銀行も國內及外國銀行窓の引出しに備へて休業し莫大なる金準備の流出を防止するに決した

米果して明日から回復し得るや疑問

諸取引所も休業

（東京六日發國通）アメリカの金融恐慌に伴ふ米國全土に亘る銀行休業の爲、四日の海外爲替諸市場は對米爲替取引を一齊に休業したが、更に五日某爲替銀行の入電に依れば、ロンドン、ブラツセル、アムステルダム其他主要都市の爲替市場も休業に決定した、我爲替銀行は五日これが對策につき打合せの結果六日は爲替取引を各國向けるも休業に決し、直ちにその旨爲替取扱ひ銀行に通達した、然して在內地各銀行支店には五日午後九時關係行に通告したが、マネーヂヤーが不在の爲これらの外銀との交涉は、橫濱正金銀行に一任するに決定した、目下の處では六日のみ休業と決定してゐるが、米國今後の狀勢如何では引續き休業が行はれるかも知れぬ、かくして米國の金融恐慌は我國に爲替休止の已むなきに至らしめた、尙爲替業務以外の一般銀行業務は平常通り營まれる

（ニユーヨーク四日發國通）米國內の州重要證券取引所、商品取引所は銀行休業期間中は全部休業する旨を發表した

財界パニツクに 內地も爲替取引中止
歐洲支那等にも遂に波及す

（東京五日發國通）全米四十八州に亘る銀行の休業支拂停止は、金兌換の停止が此の恐慌の眞只中に飛込んだ新大統領ルーズベルト氏の對策如何は、等しく世界注視の的となり、此の數日間の形勢は國際市場に重大影響を及ぼすものとしてニユーヨーク、ロンドンを殆めオランダ、ベルギー等の國際爲替取引は暗相場現出し續々停止されるに至り、對米取引に於て重大關係を有する我東京市場も、日曜にも拘らず五日正午から各爲替銀行は緊急協議の結果六日の爲替取引を中止し形勢見送りに決定、其旨を大阪、神戸、横濱各市場に通達各市場も一齊に右に決定した、尙上海市場に於ても現在同地の票金取引が米國を中心とせる六日早々休止するものと觀られてゐる

ロンドンの外貨取引 一切中止に決定

（ロンドン四日發國通）當地銀行手形交換所委員會は本日外國貨幣の取引を一切中止するに決した、爲替市場ではニユーヨークに於ける銀行界の不安に鑑み、對米クロスレートは甚だ弱くさり不利であつた、其の他外貨は相場の唱へあつたのみで實際取引は殆んど無かつた、尙リバプール綿花取引員が非公式に接受した情報による、とニユーヨーク綿花市場は二日間休業に決した模樣である。

米國銀行の大恐慌 遂に歐洲大陸に蔓延

（パリー四日發國通）當地のアメリカ銀行支店は何れも本日アメリカ中止した、米國人自身にして現金の入用なものは已むなく英國銀行を店に融通方を申し込んで居るか、歐洲各地の報道に依ると外國貨幣の取引中止は次第に蔓延しつゝあり、コペンハーゲンでは英國ポンド以外は一切相場を立てぬ事にしてゐる

米國銀行界動搖 益々深酷となる

（ニユーヨーク五日發國通）

ニユーヨーク イリノイ兩州も 遂に閉鎖の外なし

（ニユーヨーク四日發國通）銀行界の恐慌は愈々全國的となり財界となり財界の中心とも云ふ可きニユーヨーク及びイリノイ兩州も遂に三日間の銀行休業を宣言した、右兩州とも今迄は比較的平靜でニユーヨーク州知事レーマンス氏イリノイ州知事ホーナス氏共に本日迄樂觀說を唱へて居たのだが、預金者の不安は愈々外に閉じて最早抑止する術もなくなつたので他州の例に倣はざるを得ざるに立ち至つたのである

北支沿岸を中心に全支に亘る海軍警備
―帝國海軍省の公表―

（東京五日發國通）今曉零時記事解禁海軍省公表

一、北支那滿洲國沿岸の警備に任ずる津田少將指揮の第二遣外艦隊は旗艦平戸と第十六驅逐隊の驅逐艦三隻であつた所、山海關事件發生直後軍艦常盤が增遣された

一、日滿軍の熱河兵匪の掃蕩に際しては、排日暴行による在留邦人の危險を防ぐため、その必要上配備を厳にした、即ち特務艦神威は二十八日佐世保發、二月二十八日軍艦球磨は舞鶴發、第十五驅逐隊の驅逐艦四隻は吳發、何れも第二遣外艦隊に增遣す

一、山海關、秦皇島、太沽の沿岸一帶は氷に閉され、艦船の行動には非常に辛苦したが、海上よりする警備の萬全を期してゐる

一、目下青島にゐる常盤を除き第二遣外艦隊の全部は山海關及秦皇島の沖にあつて警備する

右の外第三艦隊は揚子江流域を馬公要港部附屬艦船は南支沿岸の警備に任じてゐる

以上全部の海軍兵力は艦艇三十八隻、人員約八千人に上つてゐるが各地共今迄の所、不穩の形勢はない

遂に張學良も北平逃げ出しか

（北平五日發國通）本日午前六時三十分貴賓車を連結して窓掛けを深く下し一個の列車が長辛店通過保定方面に向つた、同列車には張學良の衛兵二百名の他高級自動車等も見受けられた、之等の諸點からして該列車には、張學良が乘り込んで居るにあらずやと觀られて居る、眞否尚不明なるも熱河に於ける支那軍の徹底的大敗で學良の地位根本的動搖を示し居る際の事とて非常に注目されてゐる

學良中央要人と協議 蔣も北上の豫定

（北平五日發國通）熱河の悲慘なる敗戰に急遽對策を講ずる必要に迫られた學良は、中央政府要人の北上を督促しつゝあつたが、本日何應欽に次で宋子文また着平、直ちに順承王府に學良側要人を交へ鳩首協議を行つたが、蔣介石も明日北上するとは言はれて居る

軍事巨頭會議開催か？

（北平五日發國通）張學良は今朝突如少數の衛隊を率ゐ、平漢線で保定へ赴いたとの噂が關內に喧傳されて居る眞相は判明せぬが、事實とすれば軍事委員會分會移轉、何應欽或は閻錫山、馮玉祥、何應欽、李烈鈞、黃紹雄、楊森が南下し、保定軍事巨頭會議實現のためでないかと言はれて居る

順承王府で重要會議

（北平五日發國通）開戰に急遽策を講ずる必要に迫られた張學良は中央政府要人の北上を督促しつゝあつたが何應欽、次いで宋子文もまた北平に到着し直ちに順承王府で學良側要人を加へ鳩首協議を行ふ所あつた 尙蔣介石も近く北上するといはれてゐる

學良の沒落を見越 機關銀行券不通

（北平五日發國通）張學良の勢力が熱河省より完全に追出されたことは直に學良政權の沒落を意味するものであるとの意見は當地各方面の一致する所であるが、旣に當地にある學良の機關銀行たる河北省銀行（北洋保商銀行）兩行の兌換券は本日から俄然不通となり休日明けの明六日は取付けあるべしと警戒され、又傍系銀行に對する商人は警戒し始めた、若し學良の下野が現せば平津地方にはその積年の惡政の反動として深刻な經濟パニツク襲來すべしと懸念されてゐる

敗將湯玉麟の南京護送令發せらる

（北平五日發國通）張學良は湯玉麟を南京に護送せしむ可しとの內命に接し、部下軍隊に對し湯の逮捕令を發したと言はれて居るが支那側では湯は豐寧に逃げ、萬福麟は喜峰口方面に逃げたものと見て居る

[illegible]

英紙の熱河平定論評

（ロンドン五日發國通）日本軍の神速なる熱河平定に關し本日オブザーバー紙は左の如く論じた

熱河に於ける日本軍の神速果敢なる行動は誠に驚異に値す、日本軍は最早長城の線を越えて南に進入する事はあるまい、要するに軍事行動はこゝで一段を告げ、今後は愈々外交交涉に移るだらう、此の外交交涉について注意すべきは支那の統制が一昨年と同樣今日に於ても紛爭の最大原因であるが紛爭解決は日支直接交涉に依るの外なく、國際聯盟は直接交涉の促進に努むべきである

何應欽北平に入る

（北平五日發國通）何應欽は五日午後十二時四十五分當地に來り直ちに順承王府に入つた

蔣作賓公使歸國

（東京五日發國通）本國よりの急遽歸國命令に接し、昨日內田外相に歸國挨拶を述べた駐日支那公使蔣作賓氏は夫人並に秘書官帶同五日午后三時過公使館を出て自動車で、橫濱に向つたが、出發に先立ち蔣公使は語る

着任以來一年九ケ月になり一度歸國しやうと思つて居た所、本國からの命令があつたので歸りますが、又東京へ歸りますから別に感想もありません 余の歸國中は江華本參事官が代理を務める事となつて居ります

尙は公使は六日橫濱からダラー汽船のクリーヴランド號で歸國の途に就く筈である

紐育やシカゴの各州銀行も休業
米國銀行界益々動搖

（ニユーヨーク四日發國通）米國地方銀行の動搖は遂にニユーヨーク州に波及し、州知事レーマン氏は四日早曉に至り六日まで州內銀行の休業を命じた、同時にシカゴを擁するイリノイ州も州內銀行の休業を決定、モラトリアム區域は三十四州に達し殘りは僅か十四州に過ぎない

ニユーヨークのヒオブラスカ、ミネソタ、ニユーハンプシヤ各銀行は四日から休業又ニユーヨークの株式商品取引所も四日より六日迄休みシカゴ商業會議所も四日より閉鎖した

シカゴ商業會議所閉鎖

（シカゴ四日發國通）シカゴ商業會議所は四日より無期限に閉鎖された

圓價は騰る一方 某消息通語る

今回の世界經濟界に一大パニツク襲來に關し某消息通は語る

米國の物價安と各銀行の資金回收難により爆發したものである、この爆破により歐洲に波及し上海に飛び日本各市場でも對米爲替の═立會═を停止し大連でも立會停止となつた、一般銀行業務は日本では行つてゐる、これがため奉天、新京その他各地も圓價は騰の下落を伸び各市場とも商ひ落である、一方特產、綿絲布類の受渡につき期限の一日一日を爭ひ各店とも殆ど爭のやうな交涉が行はれてゐる、米國銀行の休業はけふまでとなつてゐるが果して七日から開業の運びとなるか否か頗る═疑問═である、いづれにしても圓價はあがる一方で銀相場は下押しで行きまう

何立中師も 王以哲軍と協力 敗走亂入兵阻止

（北平五日發國通）張家口より南苑に移駐を了した東北軍第百十師何立中の兵力約三千は今朝七時南苑發北平通過密雲に向つた、古北口、密雲間には現に王以哲軍が防備し第一線を指揮してゐるが、右何立中軍の密雲集結は王以哲軍と協力して熱河敗走兵の亂入を阻止し、且北平防備の爲め第二線を布かんとするもので尙中央軍第二十五師第七十三旅の後續部隊は續々通州に到着しつゝある

陸軍記念日に 承德で觀兵式擧行

（錦州にて青山特派員發）承德は日滿軍の目覺しき奮闘に依つて治安は全く回復し王道を喜ぶ平穩な空氣に滿ち、市民は歡喜の聲を放つて居るが、關東軍では來る三月十日の陸軍記念日の佳節をトし盛大に大閲兵式を擧行せらるる筈である

之以上外人の保護に任せず 支那駐英公使に訓電

（東京五日發國通）陸軍省公表＝南京政府外交部では、三月三日駐英公使に宛て、熱河に於ける支那軍が大敗したるは英吉利が傍觀態度を執つたからだ、今や戰禍は支那に擴大せんとす、支那はこれ以上外國人の生命財產の保護に任ずるが如き行動には出られない、聯盟の牛耳を執つて居る英國は、聯盟の權威を保持するため、日本に干涉壓迫を加へるやう、卽時英吉利政府に交涉せよとの訓電を發した

太沽砲臺問題で最後的の抗議 支那側尙聽かざれば適當な手段に出でん

（天津五日發國通）日支間の紛糾の的たる支那の太沽砲臺の裝備並びに、二十支里以內の軍隊集結問題は、南京の指命によつて于學忠が發表した昨日の抗議書的反駁により更に硬化しつつある、即ち問題發生後の二回に亘る我外交當局の抗議並びに天津駐屯軍司令官の嚴重なる二回の抗議に對しかゝる事實なしと強硬の言辭を弄して之を突放したので、三日軍司令部に桑島總領事は中村軍司令官と會見、重要協議を遂げ、近日中に我が總領事館及北支駐屯軍の名に於いてこれが事實を指摘詰問し破臺改築中止、支那軍の條約規定區域外撤退を要求し、最後的重大抗議書を發する事に決定したが、爾來支那軍の挑戰的行爲なくば平和第一主義にて行かんとする我軍として執り來つた今回の寬大なる態度に對し、支那側があくまで從はねば國際條約遵守の見地から何等かの手段を講ずるであらうと某軍政要人は語つた

人事往來

▲齋藤□太郎氏（大連前代議士）六日午前八時ハルビンより來京滿洲屋へ
▲藤田中將（陸軍豫備役）五日午後七時五十分來京滿洲屋へ
▲大石常松氏（大滿棠社長）五日午前九時南行
▲山內中佐（關東軍司令部）同上
▲中屋秀氏（愛知縣內務部長）九日午後七時五十分來、

建國記念作品剽窃問題
俄然、一般に大衝動
けふ正午國務院内で審査委員會招集

滿洲國建國周年記念作品の一等當選歌が東洋大學の校歌そのまゝの剽窃であることが本紙によつて報道さるゝや俄然各方面に多大の衝突に與へ、到るところ當日の本紙夕刊を手にしてその話で持ち切りの有樣であるが建國中央委員會でもこのまゝ棄て置く譯にもゆかず直ちに六日午前十時からまづ審査委員會を國務院會議室に招集し、善後處置を講ずることゝなほ引續きその結果を幹事會に諮つて決定することになつた、が丁幹事長始め各幹事、審査委員の意嚮は事こゝに至つた以上は中央委員會としての体面もあらうが斷然當選取消すよりほかあるまいと見られてゐる

い、加減に葬れぬ 誠に重大問題
建國中央委員會幹事長 丁鑑修總長語る

建國中央委員會幹事長たる交通部總長丁鑑修氏は六日午前十時登廳するやまづ本紙を手にして驚きの目を見張り「どうも誠に困つた問題だ

『勿論』だ幹事長としての責任は深く感ずる……」と冒頭して大要次の如く語つた

他人の作品を剽窃するなどは何處の國でも良くないことだ、文學といふやうなものは各自の創作でなければならないはずだ、建國周年記念の當選作品が東洋大學の校歌をのまゝの剽窃だとすれば誠に由々しい問題でこれは速かに當選を取消すよりほかない、何となれば若し東洋大學から或はその原作者から滿洲國へ尻を持ち込まぬとも限らない、そんな場合には

『滿洲』國として實に困つたことである、東洋大學或は原作者としては隨分苦心の存するところがあらうと思ふそれを失敬することは文治の上で盜人をしたといふことになるわけだ、この問題は決してよい可減に葬つて終つてことは出來ない、自分達の責任は唯だ不注意として許され得るかも知れないが、若しも唯今申上げたやう東洋大學或は原作者から尻た持ち込まれることも豫め考へ置くべきものであるこれが

『善後』處置については早速關係者と相談の上で早急決めたい、御承知の通り中央委員會は鄭總理が委員長に、自分は幹事長とあつてゐます直接その衝に當るのが實行幹事なのでなるか自分直接それらの人々の意見も聽いて滿洲國として今後迷惑のかゝらぬやう、また世間への申し譯が立つやうに致したいと思ふから何分それまでは諒承を願ひたり

震災地救濟對策
四日の次官會議で決定

〔東京四日發國通〕政府は四日午後二時院内に臨時次官會議を開催、三陸地方に於ける地震救濟對策に就いて租稅の減免、米穀の無償貸付、低資融通等に就いて、種々協議し更に現金募集に就いては同地の被害に鑑み、總理三百圓、各閣僚百圓宛醵金、各省官吏も從來の例に依り俸給月額の五分以上を醵金して罹災者救助資金に當てることに決定した

三陸震災最終報告
死者千五百名

〔東京五日發國通〕内務省では午後三時現在最終的震災報告を發表したが、多少死者は減じて居る

△岩手縣
死者 一、三〇六名
負傷者 三一一名
行方不明 一、三三六名
家屋被害 九、六三〇戸

△宮城縣
死者 一五三名
負傷者 一七八名
行方不明 一五五名
家屋被害 二、六八六戸

△青森縣
死者 九名
負傷者 七〇名
行方不明 二一名
家屋被害 三一戸

△北海道
死者 一二名
行方不明 四名
家屋被害 九五戸

△合計
死者 一、五〇一名
負傷者 八九九名
行方不明 一、五一六名

拉致二邦人送還を條件
宋德林歸順申込

〔ハルビン五日發國通〕建設中の〇〇線大平嶺隧道工事請負鹿島組社員三名が寶馬引附近にて去る二十四日宋德林匪と衝突し、宇都宮某は射殺されたが、其の他二名は拉致されたが、其の後宋德林は拉致邦人二名の生命を保障し送還する事を交換條件として歸順を申込んで來たので、目下交渉中である

軍司令官へ祝電
新京市民を代表し 時局後援會長から

新京時局後援會では荒木會長の名を以て錦州にある關東軍司令官に宛て六日左の祝電を發した

酷寒の砌り麾下諸勇士の神速なる奮闘により兵匪を長城外に驅逐し熱河省の安命を保持し皇軍の武威彌々揚る眞に慶賀に堪へずここに市民を代表し謹んで閣下並に麾下將士各位の御健鬪に對し深甚の謝意を表す

戰車「久留米號」の武動

〔平泉四日發國通〕二十七日以來追擊中の關東軍野戰自動車隊の活躍は物凄く、就中百部大尉の指揮する裝甲自動車隊は福岡縣人獻金で作つた〇〇軍「久留米號」を挺進隊の先頭に、砂塵を蹴つて猛進、抵抗する敵陣地に突入、矢繼ぎ早の機關銃を射擊し、敵に大打擊を與へ、大いに我軍を鼓舞したことは稱讃に堪えない

潰走せる敵兵に
機上から大爆擊

〔錦州四日發國通〕本四日午前九時〇〇飛行場を發した〇〇機〇〇機の中、一機は急に故障を起し、止むなく途中から引返したが、他の〇〇機はあくまで承德を目指して快翔、午后零時承德城内より西方灤平縣まで十五キロの間に約六千、灤平より西南十八キロ三道溝峡までの間に約五千、街道上を西南へ向け潰走する敵を發見、好き獲物とばかりに猛烈な大爆擊を加へ、或は機上機關銃の猛射を浴びせ、全滅的損害を與へて、午后二時十五分凱歌をあげて歸還した、之と相前後して出動した〇〇機は之に代つて引續き敗走する敵にも爆擊を加へつつある

飛機輸送 活躍
傷病兵軍需品等

〔錦州四日發國通〕今回の熱河討伐に際して我が飛行機輸送隊の活動は目覺ましく、二月二十四日連山に集中以來戰傷病者の後方輸送糧食軍需品等の補給に努力し、其他敵陣地の偵察を敢行し友軍を益する事大であつた、既に本日迄に食糧、二十數噸及び多大の軍需品等の輸送をなしたが、今後皇軍が奥地に入るにつれて食糧輸送の不便を補ふのは空中輸送によらねばならぬ、輸送隊長は吾等〇〇輸送隊が勇躍する時が來たと語つた

敵死体を足蹴にせず
傍によけて前進
猛き大和武夫の心情

〔承德五日發國通〕川原挺進快速隊の承德入城は既報の通りであるが、其の途下貝龍山方面には敵の遺棄せる武器彈藥、馬匹の糧秣等に混じて、多數の敵死体あり、これが爲で、道路上に棄去られた此等快速隊の通行路は非常なもの死体を乘越して行かねば前進出來ぬ有樣であつた、然し武にはやる大和武夫の心にもやさしき情あり、我川原部隊はたとへ敵兵とは言へ果敢なくも戰場の露と消え散つた尊き此等の屍を車輪にかけるのは忍びざる所となし、車を止めて死体を取りかたづけ、瞑目合掌しながら西へ西へと進擊を續けたもので、これは日本武士道の發露として、非常なる賞讃を受けてゐるが、これを聞き傳へた承德一帶の住民は今更乍ら皇軍の入城を喜び合つてゐる

承德占據後の事態
陸軍當局の觀測

〔東京五日發國通〕我軍は四日愈承德を占據したが右につき陸軍當局は大要左の如く觀測してゐる

日滿兩軍が熱河の軍事行動を起してその目的を達成した事は同慶に堪えぬ所であるが、我が全く我軍の勇猛果敢なる行動によるものは勿論である。我軍の今回の熱河に於ける行動は世界史上に新機軸を留めるものであるが、之れ實に平時に於ける訓練の成果であると共に、國民の白熱的後援によるものである、而してこの好成績の大半は又皇軍當局との共同作戰に出た滿洲國軍に讓らねばならぬ尚我軍は更に一兩日中には國境にある長城の各要所を占據し熱河省より兵匪を完全に掃蕩する事により、終局の目的を達成す事となつたが、我軍の國境前進により憂慮されてゐた支那軍との對峙により、惹起される兩軍の衝突も、熱河における支那軍が潰走してゐる事實より見て、先づ事態の發生は避け得るものと觀測してゐる

川原部隊長
山谷を占據す

〔承德五日發國通〕灤平を占據した川原部隊は息もつかず北平街道を目懸けて勇進し古北口一帶の敵匪を猛擊し五日正午古北口手前の長山峪占據した

米山部隊殘敵を掃蕩
〇〇陷落近し

〔冷口五日發國通〕冷口を占據した米山先遣部隊は間もなく喜峰口方面の殘敵を掃蕩すべく、四日午後行動を開始したが、その途中、殘敵の猛烈なる抵抗を排擊しつゝ五日拂曉攀戰の敵を擊破し〇〇陷落も愈々切迫して來た

中外を驚嘆せしめた 作戰行動

〔關東軍發表〕破竹の勢を以て前進したる河原部隊の先遣隊は四日午後一時三十分承德の東方約二里の地點に達したるに承德の東側高地には猶は相當の敵兵殘留し居り抵抗を試みたるを以て直に展開して之れを攻擊した午後一時三十分敵兵退却の色あるを以て河原部隊は裝甲自動車をして敵の陣地を突破せしめ引續き先遣隊をして承德を占領せしむ茲にて河原部隊長は承德の要人を召致して入城に關する協議を爲し午後二時五十分全力を舉けて威風堂々入城したこれより前秋山中尉は飛行機を操縦して承德に着陸し右の協議に參加した後入城に參加した

河原部隊の前路には伏兵累々算なく野砲山砲を多數遺棄しありしも前途を急ぐ同隊は之れを顧慮する、暇なく急進した、顧みるに作戰開始以來酷寒と險惡なる地形に拘らず旬日を出でずして反將湯玉麟の根據地承德を占領せる河原部隊の迅速なる行動は中外を驚嘆せしめ日本陸軍の光輝をいよく加へたるものと云ふべきである

防長號活躍

〔錦州四日發國通〕四日午後一時錦州飛行場に到着せる畑山軍曹操縱の愛國機「防長號」及び〇〇機で、下窪の戰鬪に於て負傷せる〇〇〇の傷兵八名が空輸されて到着、直ちに錦州野戰病院に送られた、傷兵はいづれも嚴寒を物ともせず激戰を重ね、自動車を降りては前面の敵を擊破し、再び自動車に搭乘しては前進するといふ物凄い奮戰の中に不幸にも敵彈に見舞はれたものであつた

丁鑑修氏披露宴

滿洲建國周年紀念慶祝大會中央委員會幹事長丁鑑修氏の名による日滿新聞通信關係者招宴は五日午後六時から料亭千鳥で開催丁氏の挨拶、對し來賓を代表富大同報顧問謝辭を述べ開宴寛いで歡談八時頃盛會裡に散會した

日本橋通にも
四人組の强盜
家人に騷がれ逃走

五日午後六時頃日本橋通十番地兩替商同盛祥方へ四人組の拳銃强盜が、現はれ金の兩替を裝ひ内部に侵入せんとしたが、家人が早くも拳銃を發見し「强盜」「强盜」と騷ぎたてたゝめ賊は一物も取り得ず、逃走した、急報により新京署では直に犯人捜査中である

突如、賊の發砲に
日高、李兩刑事殉職
今曉西公園南方賊の隱れ家で
新京署長蛇を逸す

最近新京城内外に殺伐的な匪賊强盜事件が頻々として續出し新京市民は脅怖に襲はれてゐるこれが警備に新京署では署員を督勵し警戒に努めてゐるが特に同署司法係では倉田司法主任を始め係員一同は寢食を忘て極力犯人捜査に努めてゐる、折柄賊の頭目を始め一團が西公園西南方黃瓜溝部落二ケ所に潛伏してゐることを探知し、倉田司法主任は五日夜來刑事隊を集め逮捕方針を定め、六日午前五時倉田司法主任は池田刑事以下八名を率ひ賊の主力にあたり一方平林警部補は池田刑事以下九名を率ひ一擧に兩家を包圍し家屋に押入つたが、倉田司法の方は早くも賊は風を喰つて逃走したが一方平林警部補の一隊では周圍から押しよや先づ

日高、李兩刑事は勇敢に隱れ家の表口を破壞し躍込むや賊は突如發砲し、飛込んだ、日高刑事は咽喉部を射たれ續いて飛込んだ李刑事は胸部を射ち拔かれ二名はその場に『やられた』の一言を遺し名譽の殉職を遂げた續く孔刑事も左腕に貫通銃創を負ふた銃聲とともに裏に廻つてゐた平林警部が表に廻つた時は既に賊は窓口を飛出し逃走した後であつたがその旨を倉田司法主任の一隊に急報するとともに右三名は倉田司法主任の應援を得滿鐵病院に收容され急報に接した本署では直に非常召集とともに高山署長は署員を引率し現場に急行附近一帶を包圍し犯人捜査に努めたが遂に逮捕するにいたらなかつた

勇敢な日高氏
模範的警官だつた
倉田司法主任は悄然と語る

六日拂曉黃瓜溝潛伏中の賊團檢擧總指揮の任に當つた倉田司法主任は悄然として語る

今拂曉の賊團檢擧の際不幸賊彈の爲に殪れた日高刑事は日頃から至つて眞面目な人

『職務』に忠實な人で何時の事件の場合でも眞先に驅けつけては勇敢に逮捕に向つており私の一番信頼してゐた刑事であつたが今其の人をうしなつた事はかえすぐも殘念で、一人司法係ばかりでなく新京署としての大きな痛手を蒙つた、當時も咽喉に賊彈を受け舞れながら「一少し負傷をしました」と平然と告げ流れ出る血潮をには目もくれず、眞先に立つて逃げ行く頭目を追跡し遂にこん絶えてばつたりと殪れた、自己の一身を

『犧牲』にして最後迄よく警官としての職務を全うした模範的行爲に人同感淚してゐる、本人もさぞ滿足であつたたらう、後えのこつた我々としては如何なる萬難をも排して頭目を是非逮捕し地下に眠る日高刑事の靈を慰めたいと思つてゐる

主人はさぞ
滿足でせうと
淚乍らに夫人語る

賊の一彈に殪れた日高刑事の夫人スエ子さんを訪へば淚ながらに語る、

職業柄かねてから覺悟はして居りましたがあまり突然の事故夢の樣な氣がしますどう考へても死んだ居るとは思はれません今朝の召集の時はあんなに元氣で出て行きましたのにあれが今生の別れにならうとは、然し職務に一身を捧げた主人としてはさぞ滿足に思つてゐるでせう、せめても頭目が逮捕され居れば私としても幾分諦めがつくのですが逮捕出來得なかつた事が殘念で堪りません

と後は込みあけて來る淚に續く言葉もなかつた

必ず頭目を捕へる

同僚の池田刑事は悲痛の面持でとぎれ〳〵に左の如し語つた

敏腕刑事として私の片腕になつた働いて呉れた日高刑事を今失つた事は眞に殘念で何と思つても諦められない同刑事とは三年前から共に相助け合つて來た親密な仲だ同氏は至つて朗らかな氣性の持主で職務に非常に熱心な事は御承知の通りで後輩からは肉身の如くに慕はれてゐた人望家だつた然し警察官としてはこの上も無い名譽の殉職で本人も滿足してゐる事だらう必ず頭目を逮捕し同刑事の靈前に供へる決心だ

日高氏略歴

名譽の殉職を遂げた日高刑事は明治三十四年鹿兒島縣揖宿郡今和泉村利永に生大正十年十二月十日鹿兒島步兵第四十五聯隊に入營、大正十二年四月十二日滿洲駐在遼陽に駐屯職務忠實で精勤賞善行賞を授與され大正十二年十一月三十日歸休除隊し大正十三年一月五日新京署巡査を拜命し現在にいたつたものである

李秀芝氏略歴

李秀芝刑事は直隸省永平府縣に生れ大正三年四月長春署巡補を拜命し豪力犯係特別巡補として職務に忠實であつた

哀し二遺骸
武道場に安置 弔客相つぐ

同署の殉職者日高、李兩刑事の死体は同署武道場に安置された、この日同署は弔客が引きりなく雜沓を極めてゐるが其内にも各署員は同僚の殉職を惜しみ愁に暮れてゐた

太子堂で 署葬
七日午後二時から

名譽の殉職を遂げた日高、李兩刑事は七日午後二時から祝町太子堂で盛大な署葬を執行することになつた、なほ當日の役割は左の如くである

葬儀委員長 高山署長
委員附 三橋兵事主任
同 齋藤保安主任
庶務係長 今村警務主任 以下六名
會計係長 瀨々部長 以下二名
設備係長 代田警部補 以下十八名
葬係係長 倉田司法主任 以下九名
接談係長 渡邊高等係主任 以下十三名

けふの銀相場

金票鈔票	九四、五〇
大洋金票	九一、七五
國幣金票	九一、九〇
大洋鈔票	九七、二〇

父正喜儀海林出張中二月二十七日死去致候間此段通知ニ代ヘ謹告仕候
追而葬儀ハ三月七日午後四時三十分於新京大正寺相營可申候
昭和八年三月六日
男 竹内健

凄艶紅涙双（せいえんこうるゐじん）

（一二三）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

あれを思ひこれを思ふの時雄馬は、こみ上る口惜しさにおのづさ、身もふるへるのであつた。

待つことは小時やつさ、足音も高らかに、浦上八太夫は、出て參り、満面に笑を浮べながら、陽氣な聲を張り上げた

「やあ、またせた／＼。ちさ仔細があつてのう。まあ、殿樣もお待ち兼でムる、ずつさ通らつしやい。」

導かれたのは、閑寂な庭に面した書院。――

以前の陰慘な奥の間さは、うつて變つた趣きである。

やがて、正面の襖があき、格堂公の颯爽たる英姿は現はれた。

「おゝ雄馬か、よく參つたな」

呼びかけ給ふ朗かな御聲に雄馬は、心から、ヵづよるを感じひれ伏した。

――一別以來の挨拶は、しみじみ、さりかはされた。

「雄馬、そちも、長いこさ、苦勞を致したなあ。」

「ハツ、お言葉、恐れ入ります。志餘りあつて、力足らず、勞のみ多くして、何らお役に立たず慚愧に堪えませぬ」

「云ふな！すべては、時の運ぢや。」

「でも、でも天下の大勢、この現狀を見る時、凡夫の悲しさ、諦め兼ねることのみでムります。」

思ひ耗せばすべて悲憤の種

――格堂公のいたましい退隱。

――天風組の慘擔なる苦鬪

――七卿雨の沒落。

――佐渡の剛情一徹。

――女距、阿部、淺石の悲壯な最期。

――そして、つひに、藩が擧敗の結果、みす／＼、叛謀の罪を問はれるに至つた顚末君臣さいへご、もさより、同志さしての深い交はり。

――格堂公も雄、も、涙に曇る聲もしめやかに、いつまでも、語りつゞけるのであつた。

「フッフフ……。そちに釣り込まれ、思はぬ愚痴を洩らしてしまつた、久しぶりで逢ひながら、黒ひ出話に耽るばかりも、曲がない――雄、馬予はあくまで、王政復古を謳歌致すものぢや、たさへその底に薩長の横暴がひそまふさも、かうした政体にたちかへらねば、日本は危い、予はひそかに、二十年來の信念が貫徹したことを、心から喜んでゐるだが、それにしても、予の立場さして悲境に沈む藩をそのまゝ、見捨てておく譯にもゆかぬ。――」

「殿、そ、そこでムいます、今日、雄馬のお目通り願ひました眞意は、その點について、思ひ餘りて、殿の御配慮をいただきたく。」

「うむ、多分、そんなことだらうさ察してゐた、藩には更に人物はなく、同志の粒立つた者も死に絶へ、いまでは、そち獨りにたよりて藩の難局を打開して、貰はねばならぬ雄馬、氣の毒ぢやが、藩のため、犠牲となり、もう一働き致してくれ。」

「恐れ入まする、微力、お役にも立ちますまいが、幸ひ、心誠意、必死さなつて、運動をつゞける積りではございますが、何分にも複雜した現在の狀體、――殿の御賢慮を仰がねば、なか／＼事は運びませぬ。」

「いや、予の如き半狂人、何の力にもならぬだらうが、まあ、そちを錦みに、すべてを打ち合せ、幾分でも、藩の將來を、展開できるやう、努力致さう、初長を初め肥前、土州、藝州、――昔、親交あつた各藩をたより、話を進めていつたら、ごうにかならう。」

三碧　三月七日
二十二日
火曜　壬申　先勝　執　翼宿

●一白の人　美衣美食に流れず程を守れば吉日だるべし　乙さ辛さ亥が吉
●二黒の人　一旦の難みはありさも後は却て安樂さなる　庚さ亥さ丑が吉
●三碧の人　焦る時は手中の寳も失ふことある注意の日　未さ申さ寅が吉
●四緑の人　思慮分別の鈍る日諸事目上に問はるゝが吉　乙さ未さ寅が吉
●五黄の人　收支に目を配りて油斷なければ吉日となる　辛さ亥さ丑が吉
●六白の人　一時の辛抱より大なる幸福を招き入るゝ日　丁さ庚さ戌が吉
●七赤の人　隆運に向ふ日旅行企業名弘店何れも吉し　丙さ辛さ亥が吉
●八白の人　出世の途開け來る好運日増資改築何れも吉　戌さ亥さ丑が吉
●九紫の人　目上に反抗する氣分の起る日十分愼むべし　甲さ乙さ癸が吉

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

敗戰に告ぐ敗戰で 平津全く混亂に陷る

北平の大混亂が 天津にも漸次波及

流言頻りにして阻止し難し

【天津六日發國通】北平の大混亂は俄然平靜なりし天津の空氣に一大反響を呼び、昨日來流言風說頻りに行はれ支那街にある富裕階級は家財を租界内に搬入し、民衆も續々避難中であるが此の動搖の間隙に乘じ又復除奸團と不逞の徒現はれ、華商を脅喝或は正金銀行爆破を企てんとし、救國鐵血團を組織して日本に内應する支那人を嚴罰せよと稱しこの民衆を逮捕する抗日テロ團の横行を見るに到り、全市には不穩の氣横溢しつつある際、平津警備司令于學忠は市政府公安局及び第一軍司令に謠言取締命令を發したが、邦人は當初より日本駐屯軍に全幅の信頼を捧げまだ避難準備はしてゐない

承德陷落の報で 湯玉麟罵倒の的に

天津方面の情報によれば、四日日本軍の承德入城の報傳はるや當地方一般民は湯玉麟を極度に罵倒し、今後は完全に平津を守備せよと息まいて居る

學良保定落ちの說

【天津六日發國通】某所に入つた確報によれば熱河敗走の大軍は北平に迫り、北平危險と知るや張學良は王樹常に後事を委して、逸早く單身ひそかに平漢線で保定に落ちのび、北平の學良衞隊三百名は、昨日急遽警戒の爲保定に送られたとの說あり

學良責任を回避し 湯玉麟を血祭に擧げんとす

【北平六日發國通】學良は引續き何應欽と善後策を協議しつつあるが、何應欽の名を以て熱河省主席兼第五軍團長湯玉麟の本兼職權を褫奪し嚴罰に附すべしとの命令を發する一方、軍事委員會に對しては速に將領を北上せしめられたしと電請する所あつたが右は學良が責任を回避し湯玉麟を血祭に擧げんとする魂膽と見られてゐる

大官要人 極度に狼狽

【天津六日發國通】承德陷落後同方面要人は先づ私財の持逃げに專念し約二百輛の自動車を連ねて北平に輸送し來つたが、北平も大動搖を來したので北平の大官要人も家族と共に或は天津に或は京漢線保定に向ひ避難し特別列車は勿論各普通列車は何れも滿員で、如何に各要人連が眞つ先に立つて狼狽して居るかを物語つてゐる

湯玉麟密かに 天津伊租界潜入か

【天津六日發國通】敗將湯玉麟承德退走後の行方は皆目不明の所、本六日午[illegible]時頃密かに妻妾部下を從へ[illegible]臺の自動車に分乘して[illegible]より北平を還廻し、天[illegible]伊租界に潜入した形跡がある

蔣介石頻りに 北上を策す

【天津六日發國通】蔣介石は張學良の沒落に乘じ直系の陝西、湖北、湖南、江蘇の諸省の軍隊二十ケ師を統率して北上し、北苑、南苑に之を駐屯せしめ河北の地盤奪取を策してゐるが、蔣介石は廣東方面の反蔣の口實を失はしむる意味に於いても學良の熱河放棄の[illegible]學良の官職を剝奪し罪を問ふと傳へられてゐる

北平の中心勢力 全く中央軍に占めらる

【天津六日發國通】省境集結命令を受けた何立中、商震等各軍は既に行動を開始したが右は國民に對する手前、積極的對日戰備を名としてゐるが其の眞意は關内に殺到せる熱河軍の武裝解除並びに軍隊の改編に當るもので、中央軍隊の第二十五師は滿州に頑張つてゐるが、北平の中心勢力は今や中央軍によつて占められてゐる形である

神速な攻略に 各方面から謝電

米國の印象 極めて良好

關東軍司令部には熱河作戰の成功に對し引續き各方面より陸續として感謝の電報が到着してゐるが帝國在鄕軍人會會長鈴木大將より

熱河平定のため飢寒を冒し天險を突破し勇猛果敢に敵を殲滅しつつある、貴軍將兵の忠誠勇武に對し三百萬會員を代表し、滿腔の敬意を表し戰傷者に對し謹んで同情の敬意を捧ぐ、隷下將兵に宜敷くお傳へ乞ふ

旨の謝電到着し一方駐米大使館附武官一同よりは

戰勝の快報感謝に堪へず米國一般は今更ながら皇軍の神速なる攻略に驚嘆し熱河戰も終はりとなし極めて良好なる印象を與へ他方支那の宣傳に唖然たるものあり

との電報が到着した

蔣、閻兩將 共に北支を窺う

【東京五日發國通】某所着電によれば

一、蔣介石は東北軍の督戰に任ずると稱し中央より北支へ直系の部隊を派遣すべく集結を開始した模樣であるが、之は北支の政變を考慮し、對張武力彈壓準備と見られて居る、尚蔣介石は三月三日何應欽、李烈鈞等を北上せしめ北支政權の變革等を策しつつありとの事であるが、蔣自身は天候不良や掃匪工作に口實を設け、三月中旬に非ざれば北上不可能と言明して居る

一、山西軍は歩兵第二十八旅騎兵第二旅を張家口に出動させた、東北軍援助に名を藉り北支政變の機會に察哈爾省に地盤を擴張せんが爲めである

學良等最後の一戰を決議 各將領に集結命令

【天津六日發國通】五日北平に到着した何應欽は直ちに張學良、王樹常等河北、北支系の將領を招致し善後處置を評議した席上、何應欽は一應學良の下野を勸すめたが決定に至らず結局東北、山西、中央を打つて一丸として徹底抗日を繼續するに決し、何立中の第百十師を密雲へ、灤河方面に在る商震軍龐炳勳軍を喜峰口附近に集結すべく命令を發した

蔣の北上阻止の爲 北支に一獨立政權樹立運動

吳佩孚、馮玉祥等策謀

【北平六日發國通】熱河に於ける學良の敗退はその必然の結果として蔣介石の勢力の北上を促す事となる事を恐れ、馬福麟、吳佩孚、馮玉祥等は協議の結果國民黨勢力の擴大を斥ける爲、學良をして河北、山東、山西、綏遠察哈爾を一丸とする獨立政權を建てしむるに内定した模樣である

長城線に前進を 學良、宋哲元に命ず

【北平六日發國通】張學良は三日早朝、宋哲元に對し乾溝鎭の占領を命じたが、その後之を取消し長城の線に前進を命じた、宋は僅かに一部を前方に出したのみで、その主力は三河玉田附近にあつて動かず尚ほ何應欽は五日着平した

山海關方面の支那軍 神速に驚愕す

【山海關六日發國通】我軍の承德入城の報に山海關方面の支那軍は非常な恐慌を來し、四日夜々軍を整へ準備をなし石門寨より乾溝鎭に至るとの說あり、皇軍作戰の神速に驚愕せるものと見らる

何柱國の 策戰成る

【山海關六日發國通】何柱國軍は第一線の防備を嚴重にすると共に、後方部隊を石門寨及びその北方地區へ移動準備を完了した

熱河住民皇軍に感謝

厚き保護を受け

錦州來電によれば日滿軍は熱河各地に轉戰して正規軍、僞勇軍匪賊を完全に膺懲したが其戰禍は無辜の一般住民は勿論外人宣敎師に及はず、却て此等は充分の保護を與へられたので、彼等は一同日滿軍に厚き感謝を捧げ絕對の信頼を置いてゐる

米國の東洋政策 新轉換が期待さる

何れにしても大亞細亞主義で 滿洲國は白紙の態度

米國大統領ルーズベルト氏就任に關し滿洲國官邊に於ては今後米國が働きかけるべき東洋政策の傾向に期待をそそいでゐる、即ち聯盟總會後に於ける世界狀勢は既に歐米亞の三大ブロックに分離され、何れも相互に新たなるステップを取らんとする事情の下に置かれてゐるので此際米國が如何なる東洋政策を抱懷するか非常に興味がある譯である、ステムソンドクトリンの如き純理論又は經濟封鎖等の如き空理論は亞細亞に於ける實際政治と如何なる距離に置かれて居るものか、又は滿洲國の建國が亞細亞文化史上に於ける一轉機であるとともに、西歐に覺醒するであらうか以上二點に對して米國は如何なる實際政策を適用するか、滿洲國は何れにしても白紙の態度を以て大亞細亞主義の大精神に則り進む方針であるから當然極東貿易にも影響し、また米國不況打開の根本政策とも關係があるのであつて、その就任演說において殊に失業救濟經濟回復を强調してゐる點を上述の著實と對照して非常に注目をひいてゐる

學良逃仕度完了 私財を天津租界へ運搬

【天津六日發國通】張學良は私財全部を一日、二日の兩日に亘り北平から天津の佛租界にある私邸へ運搬せしめた

天津軍司令官より祝電

【錦州五日發國通】天津軍司令官より武藤關東軍司令官に「猛烈果敢なる躍進につぎ承德占領の快報に接しつつあり、貴軍の赫々たる戰勝を祝す」との祝電が達した

熱河討匪一段落し 政治工作に入る

滿洲國の産業五ケ年計畫

【東京六日發國通】關東軍の熱河掃匪工作は世界を驚異せしむるに足る迅速をもつて、今やその大半を完了したので滿洲國政府は熱河省政府の政治機構樹立に着手し滿洲國完成へ猛進してゐるが、關東軍としては熱河省城内の敗殘兵を徹底的に掃蕩する爲、滿洲國境の要點を固め、支那兵匪の潜入を防壓する必要上尚相當期間の軍事行動を必要とするも、承德城を占領し敗殘兵を關内に驅逐する事によつて一段落を告げ、愈々ここに國家的諸施設策を講じ開發に着手し、少くとも五ケ年を一期とする、所謂滿洲國五ケ年計畫とも言ふべき計畫を樹立し、積極的に邁進する筈である

武藤全權近く歸國

一方これに先立ち、帝國全權、關東軍司令官武藤大將は、熱河掃匪終了を機とし適當時機に上京し馬占山討伐以來、蘇炳文、熱河掃匪の狀況、皇軍の軍狀等に就き委曲上奏したる後、陸軍中央部外務當局拓務關係等各關係主務省との間に打合せを行ふ事となつた

月收六百萬元中 軍費が四百五十萬元

明るみに出た熱河財政

【承德六日發國通】湯玉麟の北平方面逃亡と共に紊亂を極めた熱河省財政内容が暴露された、即ち熱河の稅收入月額六百萬元の大部分は禁煙罰金の約四百三十萬元で、右月收六百萬元中軍費が年額實に四百五十萬元、政費僅かに十五六萬元で殘餘中廿萬元餘は使途不明となつてゐるのである

藏本書記生 十四日出發

南京總領事館に榮轉の新京總領事館在勤外務書記生藏本英明氏は六日告別挨拶に哈爾賓に赴いたが一兩日中に歸來十四日午前九時發列車で家族同伴赴任の途に上ると

南洋の委任統治地域 返すに及ばぬ

ワシントンの輿論

ワシントン來電を綜合するに米國の輿論は大体左の如くである

總會の採擇せる報告書は形式的なもので決して事實に則したものでなく、日本が之を受理もせぬことは理の當然だ、規約第十六條適用云々は法律論としても聯盟が十數年研究未解決の點が多く且實際上から觀察するも各國の經濟問題から推せば絕對に實施し得ぬ筈だ

米國の脫退に際しても委任統治區域は何等問題はなかつたから、日本も聯盟に南洋を返還するの義務はないだらう

ルーズヴエルト氏の就任式擧行さる

【ワシントン四日發國通】米國第卅二代大統領に就任すべきルーズヴエルト、副大統領コーデル、ハル兩氏の正式就任は四日國會議事堂で嚴肅に擧行された

この日白亞館より議事堂に至る沿道は、早朝から詰めかけた市民で埋められ、四十に余る音樂隊が、新舊大統領の行列を彌が上にも華やかにしてゐる

定刻十一時ルーズヴエルト、フーヴアー兩氏は、相携へて卅二名の州知事、其他多數知名の政治家に護られ、白亞館を出發、沿道堵列の群衆の歡呼の中を議事堂に入る、空には飛行機が亂れ飛んで更に氣勢を添へる、議事堂に入るや先づフーヴアー氏は總額三億五千萬弗の明年度陸軍豫算案に最後の署名を終り、愈々新大統領の就任式に移り、ルーズヴエルト氏はヒユーズ氏司會の下に

「余は忠實に米國大統領の職務を遂行し、且つ余の能力の最善を盡して米國憲法を保護し、且つ防護すべき事を嚴肅に誓約す」

と宣誓し、之を以て大統領就任式を完了した時は午後一時六分

米穀以外の取引所 休業成行を見る

【東京六日發國通】パニツクにより六日の國内市場は各市場とも緊急協議を行つた結果米穀以外の取引場は取敢へず一齊に休業をして成行を見る事となつた、休業取引所は左の通り

東京株式取引所、大阪株式、名古屋株式、東京綿糸、東洋人絹、大阪綿糸、名古屋綿糸、東京砂糖、福井人絹、神戸株式、神戸生糸、橫濱生糸

米國金融恐慌に 大藏理財局の對策

【東京六日發國通】大藏省理財局はアメリカ銀行の恐慌につき、昨五日は日曜にも拘らず、富田局長以下登廳して情報を集め協議したるも、相當の所謂インフレーションは實行しやうか、金本位制の停止までは行はぬであらう尤も兌換停止は一時的の應急處置としてやらぬとは言へぬが、金輸出禁止は萬策盡きた後の對策として殘すだらうと觀測してゐる

中銀總會に於ける 總裁演說要旨（三）

本行は開業と同時に舊行號の公紙幣を引繼ぎ財政部布告の公定比率により十五種類の紙幣を整理しこれを國幣に統一し、その開業當初における發行高は一億四千二百八十四萬七千二百二十三圓六七であります、本行は貨幣法の定むるところにより發行[illegible]し漸次舊紙幣の引換を行ひ業後二ケ年間に其の引換を完了する豫定を以て既に

□……舊紙幣 五千萬圓を回收した、また補助貨の整理に關しては從來の雜然たる各種の銅貨を整理するため、新補助貨の鑄造の準備を急いでゐるのであります、國幣の安定については發行の調整準備の充實及活用に意を用ひ、公定比率の周知徹底に努力したる結果、何らの故障なく國幣の普及を見、流通極めて圓滑にして全く通貨の安定を見るに至れるは邦家のため誠に慶賀に堪へない次第であります、國幣の發行及準備について概要を述ぶれば開業當初發行高一億四千二百三十四萬八七二圓三四より

□……漸次減少し、大同元年十月十一日一一八、八七二、四二四圓八〇を最低とし更に漸增して年末一五一、八六五、三九五圓八七を以て越年し、それに對する正貨準備高は最高八〇、三八九、四〇七圓四九（七月十七日）最低六三、六三一、二九一圓四六（十月二十八日）にして常に五割九分乃至五割二分をもうけ法定準備高三割の約倍額を保有するの好成績を示してゐます

而して正貨準備外の殘額は全部法定の保證準備を保有してゐる、本行開業以來十月中旬に至るまで發行高の漸減せざるは滿洲國經濟狀態の

□……自然の歸趨でありまして、滿洲國においては特產物の出廻期即ち冬期において資金需要多くこれに反し夏期は閑散期なるが故に發行高もまたこれに隨伴するにほかならぬのであります

チタの滿洲國領事館 三月一日開館

在チタ滿洲國領事館は三月一日建國週年記念日の佳節を期し正式に開館した、尚當日は蘇聯關係者も招待し宴を張り盛大な祝賀式を開催した旨、外交部へ入電があつた

赤峰領事館 開館

事變後閉鎖されて居た赤峰領事館は今回の熱河討伐の結果再び開館する事となり、我に同館事館は現北平大使館勤務である[illegible]木田書記生は開館準備の爲め三月五日赤峰に出發を命せられた

人事往來

▲菅原省三氏（愛知縣商品陳列所長）同上

天氣と氣象

けふの天氣 南西の風晴、六日の氣溫 最高零下十三度三、最低二十五度八

毒瓦斯材料の鹽を學良に賣却の國賊 島徳藏氏も關係か

【東京六日發國通】張學良に毒瓦斯材料の鹽を賣却の事件につき、大阪憲兵隊は島徳藏の關係書類を調べた結果中心人物の大連埠頭西崗り藥種屋田中常三郎(四三)が東京市麻布に滯在せる事が判明したので、田中は四日午後十時東京憲兵隊特高課員に逮捕され、昨日大阪に護送された、尚ほ大阪憲兵隊中林中尉五日午前三時大阪東區高速度輪轉寫眞製作所の紹介出資者兵庫縣武庫郡福島悲藏を引致し憲兵隊に留置取調中である、福島は島徳藏と舊知なるため島徳から資本を引出し、大連にあつた田中と共謀し一儲けせんとしたもので、一件内容は極秘なるも、發覺の端緒は一ケ月前食鹽數萬噸を買占めて南支の某港に輸出したる事實があつたが、買占價格非常に高く、輸送汽船が不要に寄港したので、調査の結果判明したもので、島徳藏は事情を知らずに融資したものらしい

問題の剽窃作品は當選を取消に決定
内外に審査員の不明を謝す 審査委員會の結果

俄然問題となつた滿洲國建國一周年記念懸募當選歌の善後處置につき六日正午から國務院會議室において、審査委員會を開ぎたが、各委員參集のうへ問題の懸賞募集作品たる古溪生作「滿洲國建國頌」の善後對策に關し愼重協議ののち

審査委員會としては寡聞にして同俗謠が東洋大學校歌の改作なることを知らずこれを當選せしめたことは何とも申譯なき次第にて同作品の當選を取消し内外に對し深く

不明を謝す

ここに意見、この一致を見てこの旨直ちに中央委員會を通じ談話の形式で報告することゝなつた、從つて今度の懸賞俗謠は「一等」がなく、一等當選者として小林啓吾氏に授與された賞金五十元は當然返金されることになるわけである

猛然、隼の如き
攻撃新記録を示す 十五萬の敵軍潰滅

【承徳五日發國通】〇〇隊朝陽集結後一日出發した川原、落合兩部隊の挺進隊は猛然隼の如く進撃し、五百キロの長距離を僅か三日、時間にして六十時間餘の攻撃新記録を出し、此處に熱河討伐一段落を見るに至つたが、案せられるのは沿線我軍に追撃され潰走せる敗慘兵の處置であるが、これとて後續部隊の掃蕩により完全に分散すべく、十五萬と云はれた支那正規軍も雪崩を打つて關内に潰走した斯くて長城國境に日支兩軍相對峙する形となつた

二千の敵を蹴散らし 黑水を占領す

【軍司令部發表】松田部隊は四日午後四時頃黑水(赤峰東方約三里)附近の陣地に依る約二千の敵を攻撃し敵戰一時間半にして、之を西方に撃退じ午後八時黑水を占領せり、敵の遺棄せる死體約五〇にして我損害輕傷者十四人にすぎず、同部隊は昨五日夕赤峰に到着し北方兵團の主力は既に同地に集結を終れり

【錦州六日發國通】建中、赤峰街道を前進中の松田部隊は四日午後四時頃黑水の東北地區の陣地を占領し、頑強に抵抗する主力二千の敵匪を發見して、眞ちにこれを攻撃し、機關銃迫撃砲雨の降り來たる中を十一時砲火を冒して交戰約一時間の後敵を撃退して占

へられ惡道路の爲、松田部隊は非常の難行軍を續け、午後八時漸く黑水に宿營した、尚本五日早朝同地出發、北進を續行中である、松田部隊の當面の敵は董福亭の主力で砲兵二團、騎兵一團、迫撃砲十二門を有し、兵力二千の有力な部隊である

冷口方面には 已に敵影を見ず

【錦州六日發國通】本六日午前八時冷口に在る先遣部隊の其後の狀況を知る可く出動した河野、若本兩機の無線報告によれば、午前九時卅五分我友軍は已に界嶺口附近に到着しつゝあり、附近には敵影なく、長城に沿ふて西の方冷口に向ふ途中、桃林口、劉家口にも敵を見ず、冷口北方泉家林子には早くも友軍先遣部隊到着し居り附近一帶に敵らしきものを見ず、至極平穩なるものの如し

蘇炳文騎兵 トムスク出發
浦鹽より海路上海へ

北滿方面よりの確實な情報によれば二月二十六日蘇炳文の騎兵四連はトムスクより貨車二十輪に分乘、浦鹽に向け出發したが向は同軍は浦鹽經由上海へ赴くものと見られてゐる

服部々隊の手で 五日夜冷口を占領

軍司令部發表＝服部々隊は昨五日夜確實に冷口を占領せり

鈴江支隊は昨日午後五時、敵と戰鬪を交へつゝ乾溝鎭北方約五里富太子に進入せり、南方兵團の主力は昨五日承徳に入城し一部を以て灤平を占領せしめたり

長瀬部隊灤平占領

【承徳五日發國通】川原部隊の長瀬部隊は五日朝承徳を出發し、潰走する敵を追撃して午前十一時四十分灤平を完全に占領した

挺進隊の活躍物凄く 古北口占領も今日中

【錦州六日發國通】挺進隊は昨早朝索敵行動を開始し午後十一時灤平を占領し、今日中には古北口を占領の筈である

その結果山海關、喜峰口、古北口の關内外を扼する重要地點は皇軍の手に占據される譯である

圍場東方で激戰

軍司令部發表＝四日午後赤峰を出發したる茂木及高田部隊は昨五日圍場東方に於て優勢なる敵を攻撃し之を撃退せり、敵の損害は不明なるも、我損害は若干の負傷者を出せり

高田部隊 圍場を陷る

【錦州六日發國通】赤峰を發した高田支隊は、急追又急追五日午前十時には早くも赤峰より西南へ約百キロを踏破し圍場の東北約十キロの朝陽子に達し、附近に在つた約五百の敵に猛撃を加へ、之を撃破し直ちに追撃に移り、圍場の陷落は全く目睫に迫つた、五日夕刻までの我軍損害は、死者三名、負傷者廿名の見込である、尚ほ茂木部隊の主力は敵を急迫中である

熱河戰に於る 支那軍の損失甚大
丁喜春は殆んど全滅

【天津六日發國通】支那側消息によれば今回の熱河戰に於いて支那側の損失は極めて重大で、各軍とも失々多大の死傷者を出し、戰鬪開始以來退却また退却、日本軍の急追的攻撃にあつて殆ど拾收不可能で、東北正規軍于兆麟、丁喜春、孫徳荃軍の損失は殊に甚だしく、内にも丁喜春軍は殆ど全滅の狀態である

東部熱河の兵匪 逃げ場を失ふ

【開魯六日發國通】日滿軍のため追詰められた東部熱河の兵匪は漸次赤峰の西北烏丹城方面に逃げつゝあり、又一部は逃路を失つて興安城方面に入らんとしつゝあるので、滿洲國軍は全力を擧げて北方より逃走せんとする敵の退路を遮斷してゐる

松田主力部隊も 赤峰入城

【赤峰六日發國通】松田部隊は五日深更赤峰に到着した、後續部隊の集結を待つて進撃の筈である

井上〇〇隊長歸還

【山海關五日發國通】昨夜當地に着いた井上〇〇隊長は今八時特別列車で歸還の途に就いた

野村上等兵 戰死

【錦州六日發國通】落合部隊の上等兵野村俊雄君は二日凌源攻略戰鬪において名譽の重傷を負ひ手當中の所四日午後二時三十分遂に絶命した

名譽の戰傷兵 凱旋の途に

【大連六日發國通】北滿における匪賊掃蕩から近くは熱河方面における戰鬪に名譽の戰傷を負ふた〇〇名の勇士は永田二等軍曹以下の戰友に護られ大連市民の熱誠なる見送りを受け六日午前十時出帆のバイカル丸で凱旋の途に就いた

兩翼部隊前進

【關東軍發表】豫ねて綏中に於て待機中であつた中村部隊は四日前進を開始した情報によれば乾溝鎭附近には猶有力なる敵兵殘留しあるを以て今後此の部隊の活躍は大いに期待されてゐる、又四日午前九時三十分冷口北方約四里を南進中であつた服部部隊は既に冷口を占領するものと認めらる

北方兵團主力は四日赤峰出發西進し又松田部隊は同日午後八時赤峰東方十二里に達しゐるがこの部隊は徒歩縱隊にて行く〳〵止面の殘留せる敵を掃討しながら前進しつゝあり五日夕か六日朝までには赤峰の主力軍に合體するであらう

皇軍の迅速な承徳入城に
米國武官唖然たり

【承徳五日發國通】北平より四日承徳に來た米國公使館附武官グルップマン氏及ユーピー記者イーキンス氏は左の如く語つた

日本軍隊の承徳入城の迅速な事には全く驚いた、我等が市民に聞て見たが湯玉△の逃走を見て喜んで居る

尚右兩氏は五日北平に引き返した

飛行隊出動

【錦州六日發國通】五日夜半「冷口奪取を明さし敵騎兵約一萬冷口方面に向つて北進を開始す」との報を得た我が飛行隊〇〇隊は、向野中尉、塚本中尉は〇機を以て冷口にある友軍に協力する爲め本六日午前八時、冷口方面に向つて出動したが、午前九時同機よりの無線報告によれば冷口東北方約五十キロ臺十八番附近を友軍は進中であり、又冷口北方にも、冷山に向つて進軍中の友軍あり、冷山占據中の我軍の何等の危險なきものと認められる、又八木中尉を隊長とする〇〇〇機〇臺も鈴江部隊の南下に協力すべく午前八時出動した

工藤中尉輕傷

【錦州六日發國通】三月一日剛嶺南方十キロの地點での戰鬪で服部部隊麾下の米川先遣部隊の歩兵中尉工藤鐵太郎氏は胃に銃創を受けたが幸ひにして輕傷

滿洲の事情變化で 教授要目の大改正
各中等學校で案を持寄り 夏頃迄に決めやう

去る三日から大連に開催中だつた滿鐵中等教育研究委員會並に南滿中等教育會幹事會に新京からは東商業江部高女、矢澤中學の三校長出席、五日いづれも歸京したが江部校長は會議の結果につき左の如く語る

今度の會議では來年度の行事を決定するのが目的でを立が、中で最も

〝重要〟な問題として事變以來滿洲の實情は新國家成立とともに一大變化を來たしたので地理、歷史、博物、理科、家事、公民の六科の教授要目を新たに定めやうといふことになつたそれは各委員で持寄り夏頃までにきめることになつたが教授要目の内容改善は差當つての問題であるが、關東廳側では新しく教科書を編纂しやうといふ意見が有力で、吾々滿鐵側では、それは事實上なかなか困難であると反對し

〝議論〟沸騰して果てなかつた位である、何にしろ吾々に取つては極めて重大な問題であるが私共の方としては既にこれが改善に着手し地理歷史なども教授資料も出來てゐるのでそれからそれを完成して提案したいと思つてゐる

可憐な兒童たちを 苦める試驗地獄
商業、中學、高女とも一齊に けふから始まる

おのゝく小さい胸を押さえ二た小學兒童の待ちわびて入學試驗がいよ〳〵目前に迫まつて來た新京では七、八日の兩日に亙つて新京商業、中學高女一齊に行はれるが新京商業では七日午前八時二十分から受付開始九時十分から筆答試驗口頭試問眼疾檢を行い八日は口頭間試體檢査をもつて終了中學校は兩日共口頭試問で最後に眼疾身體檢査同樣兩日に亙つて嚴密な口頭試間と身体檢査を施行するから受驗者は定刻に遲れぬ樣登校されたい

さゝやき

▲精養軒の甚助小父さん多額の資産を投げ出して吉野町のレストラン大和を買しめました、そして精養軒支店として外觀共に充實したカフエーにして四月下旬華々しく名乘をあげるです、老ひて益々盛なり、たいへん良い事です▲このゼゲもさうく首になりました、何故でせう、それがため三度の飯も食えず悲觀してゐる可愛想なお方が澤山居るです▲滿務院の〇〇さん四日午前一時頃或る女‼と共に檢束されました、其の原因は果した‼……

筑紫參議歸滿

【大連六日發國通】東上中であつた滿洲國參議筑紫態七氏は夫人同伴今朝入港の「アメリカ丸」で歸滿し、一日滯在の上新京に歸任の豫定

海軍機室戸沖で 行方不明となる

【東京六日發國通】海軍省發表、聯合艦隊演習中四日午後海軍大尉黑井明操縱、海軍航空二等兵曹、澤井同乘の軍艦愛宕の飛行機は四國室戸岬南岸上空を飛行中豪雨の爲行方不明となり、搜査中なるも手懸りなし、黑井大尉は黑井大將の甥である

妓婦逃走

市内三笠町四丁目二十番地紅順堂コト李金風妓婦劉尚(二九)は六日午前零時頃脊樓中の剛染容劉金生(二八)の洋服で男裝となり逃走した同家では直に新京署に取押方を願出た

共犯二名を 逮捕
頭目近く捕れん

日高李兩刑事を射殺した賊の共犯者二名は同署刑事の活動の結果同家附近に潛伏中を六日午前六時逮捕した、目下嚴重取調を續けてゐるが近く頭目並に共犯者は逮捕されるものと見られてゐる

林警務局長 から弔電

既報、新京署日高、李兩刑事の殉職、孔刑事の負傷の報告に接した林警務局長は直ちに左の如き電報を新京署に寄せた

匪賊〇〇外數名の逮捕に向ひ勇敢に交戰の結果、遂に殉職せられたる日高巡査、李巡補の訃報に接し誠に痛惜に堪へず、謹みて哀悼の意を表す、なほ交戰においける名譽の負傷孔巡補に對しては充分なる手當を加へ速に快愉を祈る

殉職警官の 署葬儀次第

既報の殉職を遂げた日高、李兩刑事の署葬儀の式次は左の如くである

葬儀式次

一、一同着席
一、記念撮影
一、導師引導
一、辭令傳達
一、弔詞
一、弔電
一、僧侶讀經
一、喪主燒香
一、遺族燒香
一、一般燒香
一、葬儀委員長挨拶
一、閉式

慰靈祭次第 十日西公園で

既報、來る十日海軍記念日當日西公園で執行される明治三十七、八年戰役滿洲、上海事變の殉職者慰靈祭は午前十時から記次第で行はれることゝなり約二十五分間にして終了の豫定である

一、[illegible]式、三、獻饌、四、齋主祝詞奏上、五、玉串奉奠、主催者、軍部代表、官民代表、在郷軍人會長、六、撤饌、七、昇神式、退場

新京警察署勤務刑事係巡査日高若彦日巡補李秀芝儀三月六日午後五時新京郊外黃瓜溝ニ於テ强盜犯人搜索中匪賊ト交戰殉職致候條此段及謹告候也

追而告別式ハ三月七日午後二時祝町於太子堂署葬ヲ以テ相營可申候

三月六日

葬儀委員長　高山勝司

婦人と家庭

春三月、少女誘拐の 魔の手はのびる

見知らぬ人に話しかけられたら 何より無言の示威！

花時を前に誘惑の魔の手はうら若い乙女の上にのびつゝあります、先日築地で十六歳の少女が淺草の不良に誘拐され七日間監禁されてやつと逃げ歸つたといふ事件があり、更に少し以前には淺草へ活動を見に行つた十四の少女が、同じやうた目に會つて二階から飛び降り逃げ歸つたといふ事件もありますので、最初の件に就き少女がどういふ徑路をとつて誘拐されたか築地署に付き尋ねて見ますと「あの子は啞者で不良性を帶び感化院へ入つたこともあるといふ少女で、親も手を燒いてゐたらしいのですさういふ低能に近い少女でしたから、不良のつけ入るスキが十分にあつたと思はれます、要するに自分がしつかりしてゐなかつたのと、親が娘一人活動見物にやつたといふ點に責任がのびたのでせう、魔窟へ賣り飛ばさうとしたがそれもうまくゆかなかつたので

監禁

して置いたとのことでした」とのことで最も誘拐件數の多い象潟署の保安部長林信夫氏は少女誘拐の徑路、方法及びそれに對する家庭の注意を次のやうに話されます「多くなるのは三月、四月これからです、近頃地方から出て來たもので誘惑されるものが割合ひ少くなつたやうですが、これは今までの例から見て注意もするし、警察の宣傳も行き屆いてゐるためと思ひますそれから見ると、東京在住の少女は自分の土地だといふ油斷もあることゝ思ひます、年齡からいふと十四五歳から二十歳までが一番多く、氣持も

浮き

うきする年頃ですし誘拐する方から見れば一番カモになる年頃でありませう、誘拐の方法としてはいろ／＼ありますが、近頃の世相を反映してゐるものは仕事でつることです物を買つてやるといふもの、一緒に食事へ誘ふもの、何れにしても話しかけられた時に口をきいたらもうおしまひです、先日の樣にあなたのお父さまが自動車にひかれて重體だからすぐこの車で來るやうに」といふ樣な手のこんだ

誘拐

方法だと大人でもひつかゝる人が多いと思はれるくらゐ、まして十四くらゐの少女であつて見れば文句なしに乘せられるでせうが、この場合にでも十四位の少女を一人で淺草へ出す親の不注意をまづ擧げなければなりませんし、萬一さういふ巧妙な手段を使はれた場合にも、全然見ず知らずの人であつた場合には、行く先をきいてから自分でゆく樣にすれば、誘惑されずにすんだと思ひます、それだけの餘裕は注文する方が無理かも知れませんが、常にこの位の心組で

警戒

してゐることが肝要ですそれと如何なる場合にも、知らない人と口をきかぬことです、話しかけられたら默つてゐてしまへば不良の取りつく島はありません、親達への注意としては、活動寫眞の樣な誘惑の多い場所へ、娘を出す場合には必ず親が一緒にゆくかでない時は同じ位責任の持てる人と一緒に出すやうにして頂きたいと思ひます」

聞かれて羞しい ねごとを言はぬ法

頭の疲れから來るのです

ねごとは自分では何にも意識しないで云ふのですが、第三者が聞いた時は大變おかしいものです又人からねごとを言つたと云はれますと非常に氣にかかるものですそれで次の樣にして繰り返してみますと次第になほります。

非常に思ひ込んだことまたは非常なるべく早くそれを忘れるやうに心を他に轉ずることが必要であります。

ねる前に入浴するか、冷水摩擦をなし、殊に足部は湯または冷水に浸してよく洗ひ、足を赤くなるまで摩擦し、冷ないうちに寢床に入ることやドは嚴禁し、便秘の癖あらば治すこと。

なほ後頭突起及びその周圍から頸筋にかけて、自分の指先で痛い程度に、力を入れて押し込むやうな要領で、順々に押して十分間も繰り返すと非常に頭が輕くなり深い睡眠をとるやうになります。そして夢を見ることもなく寢言もなくなります。一二三週間も續けると非常に頭が明瞭になり健康狀態も一變してきます。

春めいて來ると目立つソバカス のとり方

ソバカスの療法はまだその原因が確かでないために、難かしいとされてゐますが、そのうち電氣療法は比較的有効です

また次硝酸蒼鉛九瓦と白降汞九瓦とワセリン一〇瓦を煉り合せたものを皮膚にすりこむとか、過酸化水素水の器法などといふ方法もありますが一番簡單な方法は、たえず乾性マッサージクリームでマッサージをすることです

向ほソバカスは日光に當つたり、海水浴などをすると、一層目立つて來ますから避けなければなりません

東本願寺の武田さん近詠

東本願寺[illegible]年に[illegible]を壽ぎ[illegible]お社に寄せた

建國一週年を壽ぎ　　田

進め我が子 迷はであせな
勵め我が子 たゆまでつくせ
お、我等共に共に
勇氣をこして 正義を信じ
いざや築かんおし 我が上

野菜相場

新京市場小賣相場表「菜果之部」三月六日

種別	値段	種別	値段
白菜	四八	蓮草大連物	[illegible]
サツマ芋	三四	里芋	[illegible]
山芋	[illegible]	赤芋内地	[illegible]
ツクネ芋内地	[illegible]	牛蒡	[illegible]
蓮根	[illegible]	白大根「大連」	[illegible]
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	[illegible]	人參	[illegible]
生姜	[illegible]	ウド	[illegible]
ワサビ	[illegible]	內地葱	[illegible]
玉菜	[illegible]	カブラ 大・小	[illegible]
馬鈴薯	[illegible]	水菜	〇八
ユリネ	[illegible]	同	[illegible]
セリ內地	[illegible]	ミツ葉 大・小	[illegible]
春菊大連	[illegible]	ワケギ內地	[illegible]
林檎	[illegible]	胡瓜內地	[illegible]
天津梨	[illegible]	內地梨	[illegible]
ネーブル	一四〇	ミカン	[illegible]
		西瓜	[illegible]

戀鳥船往來

（作）守島柾史　（畫）布施長春

第三十四回

春の草野（三）

チプヌイは、白軒の膝に手をおき何もいはずその顔を見上げた。

『おゝ、ゆるしてくれるか……』

『いゝえ、それはなりませぬ』

『なぜぢや、蝦州城登の激太の佐次郎一人のために、部落一統が奉行といくさをしてなんになる？』

『いゝえ、たとへいくさに敗けてアイヌが一人残らず死んでも、あんたを奉行所へ渡すことならぬとお父しやんは申してをります。とうか佐次郎しやま、あんしんして部落にゐてくたしやれや』

白軒は眼を瞑つた。腕をこまぬいて、少し反身に、深い溜息を洩らした。

『佐次郎しやま』

『おう』

顔をつぶつたまゝである。

『いやです、そんな寂しい顔……チプヌイを見てくたしやい』

哀願するやうなその語調、ピリカメノコの上眼つかひの瞳は、夢みるやうに美しい。

『………』

白軒は、默つてふたゝびチプヌイの乗肩へ手を離した。蝦夷地へ渡つて以來、ほとんど忘れられてゐた情感を、いまこの蝦夷の丘の草刈場で味はふことができたのだ。そして、清らかなうき世のにごりに染まぬアイヌ乙女の纏綿たる感情に感謝する。一方では、ふしぎと、紫煙のやうにすてたはずの山村禁園のあでやかな面輪をはつきりこゝろに描くのだつた。

禁園とチプヌイ……それはまつたく異つた。ふたつの存在である。濃くして肉親にそむき、うき世の労苦をなめつくした禁園と、平和な村の長の愛娘のチプヌイ……このふたりの女性が、いま野獣と失意のこんがらがつた白軒の胸に大きくよろこびとなつてあつまつてくるのだ。

すてた禁園だが、いまさらなんとなくその女にも未練がある。つきつめた[illegible]したゝめの心のゆるみからだ。同様に、いま自分の傍に満身の愛情を捧げてゐるアイヌ娘チプヌイをも盲目的に抱きすくめてやりたい慾情を感ずる白軒だつた。

旅のうさ晴らし……そんな浮ついたことではなく、いま一歩踏み込んだ、ふしぎな情熱を、この部落の乙女に感ずるのは何故であらうかとおもつてもみる。

――あゝ、やつぱり、おれも里心づいたのか……。

白軒は、こゝろひそかに自分の感傷を恥ぢた。

チプヌイは、それとは知らず、奔流のやうに昂つてくる情熱を抑へることができぬ風に、哀切をきはめた語調で、しかも、詩のやうにうつくしい言葉で、こゝろのありたけを述べる。

『ねえ、佐次郎しやま。あんたはオキリリムイのやうな偉いふとてす。それに、こゝろか山牡丹のやうにやさしいふとてす。とうか、いつまでも、この當別の濱にゐてアイヌたちのこゝろを明るくしてくたしやれや』

『ありがたい、忝けない。この佐次郎たゞ感謝の涙あるだけぢや』

すつかり、むかしの白軒に戻り切つて、感激をおもてへ現すのだつた。

が、そのときとつぜん風もないのに草が鳴つて、ふたりの[illegible]のさゝやきに波紋をあたへた。

たしかに人の足音である。

おや……とおもつて振かへると足音の主は、つい近くの草むらにいつのまにかうづくまつてゐるのだつた。

あかねに染つた古手拭を頬かむりにし、あご髭を無精に生やした陽焼けた顔の四十がらみの、ついぞ見なれぬ男。

『誰だ！そこにゐるのは？』

白軒の佐次郎はチプヌイをかばふやうにして、くせものゝ方をかろく睨んだ。

『………』